2011年度　立命館大学大学院　＜2011年　2月実施＞

国際関係研究科
博士課程前期課程入学試験問題

≪一般・社会人・留学生入試用≫

第2時限　論文

試験時間	一般入試	:11時～　12時30分
	社会人入試	:11時～　12時30分
	留学生入試	:11時～　12時30分

（途中退室はできません）

受験科目（選択）
・法　律
・政　治
・経　済
・社　会・文　化

＊解答にあたっての注意

① 受験科目（1科目）を選択してください（事前申請科目からの変更可能）。
② 選択した科目の答案用紙を使用し、問題（Ⅰ・Ⅱ）ごとに答案用紙を分けてください。
③ 用紙ごとに受験番号、氏名を記入してください。

＊問題および選択した科目の答案用紙は試験終了後に回収します。

一般・社会人・留学生	：法 律

下記の問題に答えなさい。解答は全て解答用紙に記入すること。
ただし、問題Ⅰと問題Ⅱについては、それぞれ別の解答用紙を使うこと。

問題Ⅰ　次の項目から1問を選択し、選択した問題番号を明記の上、解答しなさい。3問とも解答した場合は無効となります。

1．国連がその国際公務員に対して行使する外交保護の権限は、国家が自国民に対して行使する外交保護権とどのような点で異なるかを説明しなさい。

2．EU法の作成におけるEU議会の役割を簡単に説明しなさい。

3．英国は二院制をとっているが、各院の名称と主要な権限を説明しなさい。

問題Ⅱ　次の項目から1問を選択し、選択した問題番号を明記の上、解答しなさい。3問とも解答した場合は無効となります。

1．「国家の分離独立」の要件について、最近の事例と裁判判例（国内裁判所・国際裁判所を問わない。また訴訟事件以外でも構わない）を引用して説明しなさい。

2．生物の多様性に関する条約における「ABS制度」とは何か？略称の意味を説明した上で、同制度の内容と最近の動きを説明しなさい。

3．日本における「外国人参政権」問題について説明しなさい。可能であれば諸外国と日本との違いについて言及しなさい。

一般・社会人・留学生	：政治

下記の問題に答えなさい。解答は全て答案用紙に記入すること。
ただし、問題Ⅰと問題Ⅱについては、それぞれ別の答案用紙を使うこと。

問題Ⅰ　次の項目から4問を選択し、選択した問題番号を明記した上で、語句の内容をそれぞれ4行以内で説明しなさい。（10点×4＝40点）

① ASEAN 地域フォーラム（ARF）
② EU（欧州連合）基本権憲章
③ CIS（独立国家共同体）
④ コミュニタリアニズム
⑤ バンドン会議
⑥ ISAF（国際治安支援部隊）
⑦ 東西冷戦
⑧ 新しい社会運動

問題Ⅱ 次の項目より1問を選択し、選択した問題番号を明記した上で、論述しなさい。（60点）

① 国連開発計画（UNDP）の『人間開発報告 1994 年版』の特集テーマに設定されて以来、「人間の安全保障」という概念がグローバル時代に対応する安全保障の考え方として広く提唱されるようになったが、この「人間の安全保障」の従来の安全保障概念との違いや意味について論じよ。
② ウィキリークスによる公電の暴露や「尖閣ビデオ流出問題」などに見られるように、インターネットを駆使した新たなメディアが国際政治の動静を左右するようになっている。国際関係論におけるその意義と課題について論じよ。
③ 第 2 次世界大戦後に政治的独立を達成したアジア・アフリカの国々のなかで、当初の独裁体制や権威主義体制から民主的な体制へと移行した国が少なくない。そうした開発途上国の民主化のプロセスについて、具体的な事例を挙げながら論じよ。

一般・社会人・留学生	：経 済

下記の問題に答えなさい。解答は全て答案用紙に記入すること。
ただし、問題Ⅰと問題Ⅱについては、それぞれ別の答案用紙を使うこと。

問題Ⅰ　グローバルな金融・経済危機発生の当初、危機は世界のすべての国を巻き込むであろうとの見方があった反面、新興国は先進国の危機とは相対的に独立して発展しうるとの見方（いわゆる de-coupling 論）も存在していた。これら二つの対立する見解に照らして、今日の世界経済の状況をどのように捉えることができるか、論じなさい。

問題Ⅱ　以下の各問のうち、1つを選択し、論述解答せよ。なお、解答する番号のみを記し、問題文は書き写さないこと。

1. 途上国の経済開発において、農村部から都市部への労働力供給が果たす役割および供給のメカニズムについて論ぜよ。

2. 途上国の経済開発と一次産品輸出の関係について論ぜよ。

一般・社会人・留学生	：社会・文化

下記の問題に答えなさい。解答は全て答案用紙に記入すること。
ただし、問題Ⅰと問題Ⅱについては、それぞれ別の答案用紙を使うこと。

問題Ⅰ　外務省が発行する『外交青書』（平成22年度版）では、「日本への理解と信頼の促進に向けた取組」の一つとして「文化事業」を挙げ、それを「以前から取り上げている伝統文化・芸術に加え、近年は世界的に人気の高いアニメ、漫画などのいわゆるポップカルチャーも文化外交の主要なツールとして活用している」と説明している。以上のことを踏まえて、以下の問いに答えなさい。

（1）「文化外交」という考えが、なぜ今日重要なものになっているのか。「文化」に対する考え方の変化に注目して説明しなさい。

（2）「文化外交」の意義と問題点について、それぞれ説明しなさい。

問題Ⅱ　次の項目から1問を選択し、選択した問題番号を明記のうえ、1,000字程度で論じなさい。

1．少子化・高齢化と扶養

2．国際結婚とハーグ条約

3.トゥアリズム（Tourism）と世界遺産